

平成24年度アンケート（抜粋）

1 今回の研修は有益でしたか。

- 放射線被ばくが人体に及ぼす影響についてよく理解できた。
- 教育システムが整っていて、各機関の横の繋がりが整っていた。

2. この研修で得た知識、または技術を実際にどのように利用するつもりか説明してください。

- 被爆者の診療や検診は学んだとおりに実施し、医療支援事業も模索する。
- 今回の研修で得た知識等を自国の同僚や友人と共有し、放射線が人体に及ぼす影響について研究を重ねていきたい。

3. HICARE の事業をより改善するために、今回の研修に関するあなたのご意見をお聞かせください。カリキュラムや期間、その他について。

- ほぼ完ぺきなスケジュールだったので改善すべき点はなく、現在のようなシステムが維持できればよい成果が得られると思う。
- 今後平和が続くことを願っていますが、万が一事故が起きた時の対処方法などの教育もあればいいと思います。

4. 広島での滞在について

(1) 広島での生活にどのような印象を持たれたか教えてください。

- あまりにも平穏な様子で、核兵器が落ちた時には普通の町の繁華街だったと言われる平和公園とか保存されている遺産がなければ、被爆したとはまったく想像もできない町です。市民の皆様はどこに行っても大変親切でやさしかったです。
- 平和記念資料館で原爆投下当時の残酷な写真や展示物を見て、現在の平和で静かな広島になるまではあらゆる苦難を克服し、弛まず努力しただろうと思うと、胸が熱くなりました。

(2) 広島での滞在中、日常生活で不便を感じたことがあれば教えてください。

- これといった不便はありませんでしたが、スーパーのような店が何軒かありましたが、値段がバラバラだったので買い物をするのに困りました。

5. 研修を終えて感じたこと

- ハードスケジュールだったのに、担当講師は誠意と真心を込めて講義してくださったので感謝しております。
- 放射線被ばく者に関する体系的な管理システム構築のため日々頑張っている関係者連団体及び機関の関係者たちの努力に深い感銘を受けました。特に、健康管理増進センター所長の熱い講義と様々な質問へのご対応、最善を尽くす様子をずっと忘れません。
- 訪問した放射線影響研究所では、私が知っていた内容とは違って、被爆者に対して体系的で専門的に多くの研究をしていました。その研究の成果物は、現在全世界に広まり、病院での放射線研究にも大変役立っていることがわかりました。
- 福島原発事故時に多くの患者が避難時に死亡したとの話を聞き驚きました。今後このようなことが二度と起きないように対策を整える必要があると強く話されていたので、とても共感しました。